



四季

第5号（7月・終業式）

～四中の季節～

『正しく学び 自他を尊重し たくましく生きる力を育み ふるさとと共に歩む』

令和8年7月17日発行

校長 関 勝 志

〒187-0045

小平市学園西町1-3-1

☎ 042 (341) 4344

Mail gakkou@34.kodaira.ed.jp

「ベストを尽くす」とは…、「最後までやり抜く」こと

校長 関 勝 志

4月に新しい生活がスタートして約3か月が過ぎました。新しいクラス、新しい仲間との生活は、楽しくもあり、また不安もあったことでしょう。しかし、運動会をとおして泣いたり笑ったり、クラスの絆ができました。今ではきっと自分のクラスが一番居心地のいい場所となっていることでしょう。また、この1学期は「気持ちのいい挨拶」をする生徒が多くなり、予鈴登校も定着しつつあります。あと一歩です。

6月と7月は運動部の夏の大会が行われました。部活動の応援は私の楽しみでもあるので、できるだけすべての部活動の応援に行こうと思っていたのですが、残念ながら応援に行けなかった部もありました。夏の大会は3年生にとって中学校生活最後の大会です。どの試合も観ていて感動がありました。ソフトテニス部とバレーボール部、剣道部男子が都大会に出場します。個人では、陸上部、剣道部男子、卓球部女子が都大会に出場します。また、野球部と卓球部女子団体は多摩大会に、吹奏楽部は8月のコンクールに出場します。それぞれの活躍を期待しています。3年A組の前田結衣さんが、水泳200m背泳ぎで関東大会出場を決めました。それも3年連続です。健闘を祈ります。

残念ながら試合に負けて次の大会に進むことができなかった部の3年生は引退となりました。私が応援に行った試合でも、四中生が負けて悔しがめる姿を目の当たりにしました。試合で生徒たちは勝つことを目指しているのに、勝って喜んでいる姿を見ると涙があふれ出すくらい嬉しいのです。しかし、それとは違う、それ以上に感動する場面がありました。それは「最後まで諦めずやり抜く姿」です。点差がどんなに離れていても、決して力を抜くことはありませんでした。きっと、これまで積み重ねてきた努力や、自分を支えてくれた人々への感謝など、様々な思いが頭をよぎったと思います。

「ベストを尽くす」という言葉があります。これはスポーツに限らず、行事や試験など、様々な場面で使われる言葉です。「ベスト」という言葉は、英語の“good”⇒“better”⇒“best”という変化の最上級です。言葉の意味としては「最高」や「最善」です。

ベストを結果として考えると、それは「最高」の結果なので、部活動の試合なら「勝利、優勝」、試験なら「100点」です。この「ベストを尽くす」は誰でも達成できるものではありません。途中で諦めてしまったり、「どうせ頑張っても無理」とチャレンジしなかったりすることもあるかもしれません。

それに対して、ベストを過程（プロセス）として考えると、それは「最善」の方法なので、部活動の試合でも試験でも「自分の全力を出すこと」「精一杯取り組むこと」「最後までやり抜くこと」です。これなら、その気になれば頑張れます。とは言っても、「最後までやり抜くこと」はそう簡単ではありません。

困難に直面したとき、最後までやり抜く力（レジリエンス）は、生まれもった力や性格ではなく、経験によって育まれるスキルであると言われています。全力を尽くして最後までやり抜いた経験だけが、心の中に自信を生み育ててくれます。生徒たちには、そういった経験を積み重ねて「最後までやり抜く」自信を育ててほしいと思います。45日間の長い夏休みも、自分で決めた何かを最後までやり抜く経験をするよい機会です。大切な時間にしてほしいと思います。また、安全な夏休みであることを祈っています。

【保護者の皆様へ】 ～児童生徒性暴力等の根絶～

本校では、生徒の人権を尊重するとともに、安全かつ安心な学校生活を送ることができるよう努めております。教職員が生徒から個別に相談を受ける場合は、管理職に報告することを徹底するとともに、SNS等での個人的なやり取りを禁止しております。また、指導上必要な補助や介助、生命や身体を守るための危険回避等で身体に触れる場合を除いて、生徒に対する不必要な身体接触を行わないよう指導しております。過去におきまして、本校の教職員による性暴力はなかったと認識しておりますが、全国の学校の実態として性暴力が存在するのは事実であり、他人事ではありません。同性による性暴力や生徒が性暴力と認知できないものもあり、まわりの大人が気を配る必要があります。

ご家庭におかれましては、学校生活における出来事について話し合う機会をもってください。お子様が「怖い」「おかしい」「モヤモヤする」「イヤだな」と感じるのであれば、学校にご相談いただくか、相談シートや各種相談窓口をご利用ください。相談シートは、性暴力等だけでなく、体罰等に関する相談も記載することができるようになっています。相談シート及び相談窓口の情報は学校ホームページに掲載しております。

私たち教職員は、今後も生徒たちの心と体を大切に守り、充実した学校生活を送れるよう努めてまいります。



児童・生徒を教職員等による性暴力から守るための第三者相談窓口
（保護者の方も相談できます。）

■キャリア講演会■ 6月26日（金）

本校はキャリア教育の研究に取り組んでいます。ファッションブランドを運営する傍ら、トータルライフプロデューサーとして多方面で活躍されている坂口シオン先生を講師としてお招きし、キャリア講演会「個性を大事にし、人生を楽しむ方法」を開催しました。坂口先生の体験談をもとに個性について深く考えることができました。生徒たちが積極的に質問し、笑顔が多い楽しい講演会になりました。生徒アンケートでは「楽しかった・興味をもてた」という回答 99%、「自分らしい生き方について考えることができた」97%、「夢や目標をもつきっかけとなった」88%でした。生徒たちには「唯一無二」の自分を大切にしたいです。生徒の感想の一部を掲載します。



【1年生】 自分らしさを大切にしようと思うことができて気が楽になりました。赤髪先生が過去にいじめられていた経験があるということがすごく印象に残っていて、言葉に説得力を感じて、今つらいことも大人になったらいい経験(?)になるみたいなことを言っていたので、乗り越えようと思いました。

【3年生】 「流行に乗ることは大事だけど、それで自分を失ってはいけない」という言葉がとても印象に残った。確かに、流行をずっと追いかけているだけでは、自分が目指したいものが見えなくなってくるのだろうなと思った。自分の個性、好きなことを真っ直ぐにこれから生きていきたい。

■道徳授業地区公開講座■ 7月5日（土）

本校は心の教育を大切にしています。道徳授業地区公開講座を開催し、100名を超える保護者や地域の皆様にご参観、ご参加いただきました。ありがとうございました。1校時は各学級で「私の再出発」という教材で道徳授業を行い、2・3校時は体育館で全校道徳を行いました。各学年の生徒と教員の代表、地域の代表（CS委員）をパネリストとしてパネルディスカッションを行いました。講師は本校ではお馴染みの、森岡耕平先生です。授業の感想に続いて様々な意見が出されました。森岡先生には、大谷翔平選手のマンガラチャート（目標整理フレームワーク）を例に挙げ、「夢と希望と目標と…」というテーマでお話いただき、学びが深まりました。会場の保護者からもご意見をいただき、とても有意義な時間となりました。生徒アンケートでは「自分のこれまでの歩みを見つめ直すことができた」という回答 95%、「これから生きていく上で大切な気づきや学びがあった」94%でした。生徒の感想の一部を掲載します。



【2年生】 体育館で生徒の親が話してくれた内容で、「一回休んでもいいから、頑張る」という言葉（そのままだけの言葉ではないです）にとっても感動しました。いま自分は学校にあまり通えていませんが、休みつつも、目標に向かって頑張っていきたい。

【3年生】 今からやってもおそいと思ったり、何かに挑戦する勇気がなくても、やらないで後悔するよりは、勇気を振り絞って行動をおこすことが大切だ、と今回の道徳授業で思いました。これからは、挑戦するか迷ったら、まず何かやってみようという心をもつようにしたいです。

■おしゃべりウィーク■ 6月22日（火）～7月3日（金）

本校では初めての企画「おしゃべりウィーク」を実施しました。生徒から、おしゃべりしたい教員の希望をとってマッチングしました。企画したのは、不登校対応巡回教員（石崎教諭）です。不登校対応巡回教員は、魅力ある学校づくり（居場所づくり、きずなづくり）をキーワードとして、四中の他に、二中と五中を巡回し、各校の不登校対応を充実する取組を行っています。

今回、約140名の生徒がおしゃべりを希望しました。生徒の感想の一部を掲載します。



○時間が短いぐらい会話が弾んでよかった。

○普段聞けないことなどいろいろ聞けて、特別感がありワクワクした。

○最初は先生と何を話すか心配だったけど、いざ話してみれば盛り上がってとても楽しかった。

○その先生の意外な一面や好きなことが知れたり、少し親しくなれたりしてよかった。

○学校内での頼れる人が増えてよかった。

○ご負担でなければもっとたくさん話したい。次は他の先生とも話したい。

■生徒の活躍■

<水泳> 第65回東京都総合体育大会水泳競技大会

女子200m背泳ぎ 3A 前田結衣 2:32:16 ※関東大会へ出場決定

<バレーボール部> 小平市民スポーツ祭 優勝 最優秀選手賞 3C 大谷悠樹